（執筆者）星野妙子

「アジアとラテンアメリカの企業経営」研究会

（主査：星野妙子）

第１回研究会　議事録

Ⅰ．　日時　　平成１６年　４月１６日（金）　１４時～１７時

Ⅱ．　場所　　東京大学社会科学研究所

Ⅲ．　出席者（敬称略）　（内部）星野妙子、安倍誠、北野浩一、坂口安紀、佐藤幸人、今泉慎也、柏原千英、川上桃子、

（外部）小池洋一、末廣昭

（外部オブザーバー）中村尚史、中川和彦、竹内亘理、上原美鈴、大澤武志

欠席者　清水達也、東茂樹、渡邉真理子

Ⅳ．　配布資料

「研究会の企画案」「今年度の年間計画」（以上星野作成）、

「私の研究案」（各委員が作成）

Ⅴ．　議題　「今年度の年間計画」

今年度の課題案を星野主査が説明し、年間計画を作成した。概要は以下のとおり。外部招聘講師については招聘希望の講師を委員に上げてもらい、星野主査を中心に可能性の検討、依頼交渉を行うこととなった。

開催予定

５月２１日（金）　外部講師招聘

６月１８日（金）　外部講師招聘

７月１６日（金）　外部講師招聘

８月２０日（金）　外部講師招聘

９月１７日（金）　小池委員報告、星野委員報告

10 月１５日（金）　安倍委員報告、清水委員報告

11 月１９日（金）　佐藤委員報告、末廣委員報告

12 月１７日（金）　坂口委員報告、北野委員報告

１月１４日（金）－１５日（土）（予定）　原稿検討会

原稿執筆スケジュール

１次稿締め切り　１月１１日（月）

最終稿締め切り　２月１７日（火）午前９時

最終稿提出　　　２月２０日（金）

出版形態　アジア経済研究所研究双書

議題２　各委員「私の研究案」

事前に作成したA4一枚分の研究案をもとに、各委員が本年度の研究案を説明し、質銀応答の後、研究会全体として研究テーマをどのように収斂させるか話し合った。

各委員の研究案は次のとおり：

安倍委員：韓国財閥における専門経営者の養成（キャリアパス）の分析

佐藤委員：台湾企業の専門経営者企業化の検証

末廣委員：タイ企業における専門経営者の登用、内部昇進者の活用の分析

星野主査：メキシコ企業における専門経営者の進出状況と育成体制の分析

坂口委員：ベネズエラ企業における専門経営者の進出状況と育成体制の分析

小池委員：ステークホールダーとしての「社会」のブラジル企業の企業統治への影響

清水委員：ペルーの上場企業における専門経営者の進出状況と育成体制の分析

北野委員：チリにおける年金基金の株式所有による企業統治への効果の検証

話し合いの結果はつぎのとおり。

１．研究案は、ファミリー企業における専門経営者の役割（６人）、ファミリー企業の企業統治（２人）のふたつのテーマに二分されることが明らかになった。この二つをどう融合させるかが研究会のひとつの課題となるが、具体的案については時間的な制約から話し合うことができず、今後の課題として残された。

２．専門経営者の分析についても、次のような点で各委員の課題が微妙に異なることが明らかとなった。

- 対象をファミリー企業のみとするか、他形態の企業も含めるか
- 業種の違いをどう分析にとりこむか
- 事例を中心とするか、ある程度数を集めるか
- 経営形態と企業パフォーマンスの関係まで分析に含めるか

また専門経営者化の分析には次のような困難が伴うことも明らかになった。

- 専門経営者化の程度をいかなる指標で計るか。ポストの数のみで判断していいのか。
- 情報制約から経営権委譲の実態は検証不可能ではないか。

課題をどうすりあわせるか、困難にどう対処するかについても、時間的制約から十分に話し合うことができず、今後の課題として残された。

VI.　次回予定

日時：５月２１日（金）14時～17時　　場所：東京大学社会科学研究所